

環境省認定検定



本検定は環境省
「人材認定等事業」に
登録されております。

第20回 産業廃棄物 適正管理能力検定



第19回から各検定の名称が変わりました！

会場型 検定 2級・1級	試験日	2024年12月1日(日)	検定2級 13:30 開始 検定1級 16:00 開始
	申込期間	2024年8月1日(木)～2024年10月31日(木)	
	開催地	札幌／仙台／東京／名古屋／大阪／岡山／広島／福岡	
オンライン 検定 基礎編	申込期間	2024年3月1日(金)～2025年1月30日(木)	
	受講期間	2024年4月1日(月)～2025年2月28日(金) ID発行から1か月以内	

環境貢献企業の実務と教育を支える。

CERSI 一般社団法人企業環境リスク解決機構
Corporate Environmental Risk Solution Institution

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本検定は、産業廃棄物の適正な処理の推進を通じて持続可能な開発目標(SDGs)における「12 つくる責任 つかう責任」に貢献することを目指しています。

12 つくる責任
つかう責任



産業廃棄物適正管理能力検定

～ 産業廃棄物担当者が身につけるべき統一の知識基準 ～

産業廃棄物適正管理能力検定とは

建設業、製造業、流通小売業など、産業廃棄物を排出する企業の担当者を対象に、産廃を管理する上での必須の知識を問う当機構独自の検定試験です。

受験のきっかけ



- 部下の産廃知識が正しいか確かめたい
- 社内教育の一環として取り入れたい
- 新しく産廃／ISOの担当者になって不安

受験者の声より

分野ごとの採点結果からニガテ分野がわかり
レベルアップできました

実際に受けてみて、
会社で受験必須だったことに
納得がいきました



20代 小売業社員



30代 建設業社員

法令などの必須知識だけでなく
時事問題も取り上げられており、
実務者向けだと感じました



50代 製造業役員



**産業廃棄物に係わる方全員に
受けていただきたい検定です**

検定を活用し、リスクを防ぐ廃棄物管理体制を

検定概要

検定1級 建設系コース **検定1級 事業系コース**

対象者 産廃管理の統括部門／産廃について指導する立場

会場型
(旧: 応用編)

建設系・事業系の2コースで高度な専門性を問う難関の検定

専門的な知識や、高度な判断が求められる担当者の方に。建設系・事業系の2つのコースから選択し、より自社の実務に直結する力量を測定できます。合否を左右する論述式問題など、「正しい知識」に加え「判断力・伝達力」が問われる、実践的な内容の検定試験です。

出題範囲	共通	廃棄物処理法、関係法令に関する高度な知識
	建設系コース	石綿（アスベスト）や建設リサイクル法の知識
	事業系コース	製造系企業等で必要とされる産廃知識

受験対策

検定1級 事前対策セミナー

合格基準

35点以上/50点満点中

合格率

約30%

検定2級

対象者 産廃管理に携わるすべての担当者

会場型 (旧: 検定)

あらゆる産廃担当者にとって必要な知識を問う決定版

許可・契約書・マニフェストなど委託時の基準を中心に、産業廃棄物の排出事業者の担当者として必須の知識を網羅した、最もスタンダードな検定です。産廃担当者の能力基準として広くご活用いただいております。公式テキストを用いた学習で体系的な知識習得にも効果的です。

出題範囲	産廃管理に必要な知識全般	許可・契約・マニフェスト
	廃棄物のリスクと罰則	運搬・保管等処理のルール
	廃棄物の区分と定義	関係法令の概要・時事問題(各種リサイクル法など)

受験対策

検定2級 事前対策セミナー

- ・【通信教育】
産業廃棄物適正管理能力検定合格講座
- ・公式テキスト、問題集

合格基準

70点以上/100点満点中

合格率

約55%

検定基礎編

対象者 新入社員／新任担当者／マニフェスト等事務作業者／現場の分別担当者など

オンライン (旧: 入門編)

動画講座付きで社内教育としても最適なオンライン検定

約3時間の動画講座と確認テストで、産廃の基礎的な知識をやさしく学べるオンライン検定です。いつでも、どこでも、何度でも受講可能なe-ラーニング形式。受験者全員に豊富な図解がわかりやすい「産廃がわかるハンドブック」を送付しますので、初めて産廃を学ぶ方でも安心して学習できます。

出題範囲	基礎的な産廃知識	許可・契約・マニフェスト
	廃棄物のリスクと罰則	産廃用語の理解

学習パート

動画講座＋
ハンドブック付き

合格基準

24点以上/30点満点中

合格率

約100%

修了証

産業廃棄物適正処理能力検定
基礎編 修了証



おすすめ受験対策

検定1級 事前対策セミナー

オンライン

難関の検定1級対策に特化。テキスト外からの出題の対策に加え、合否の鍵を握る記述式問題の添削サービス付き。e-ラーニング形式で、どこでも、何度でも視聴可能です。

検定2級 事前対策セミナー

オンライン

豊富な演習問題と解説で一気に合格に近づく、最もおすすめの検定対策です。過去合格者の半数以上が受講。e-ラーニング形式で、どこでも、何度でも視聴可能です。

公式テキスト付属
両セミナー共通



セミナー詳細は
webサイト・チラシにて

資格制度

検定2級・1級に合格された方は、「産業廃棄物適正処理管理士」の資格にご登録いただけます。




- ・登録は任意(別途料金3,300円)
- ・資格カードの提供
- ・資格更新にはアップデートセミナー要受講(有料)
- ・産廃相談窓口など特典あり

 検定基礎編 問題

ア. 廃棄物処理法上の「最終処分」に含まれるものを以下よりすべて選びなさい。

1. 収集運搬
2. 積替保管
3. 埋立
4. 残さが有価物となる中間処理

解答

 検定2級 問題

イ. 次の図のような産業廃棄物の処理委託を行う場合、排出事業者としてA・B・Cの各業者との間で結ぶべき産業廃棄物処理委託契約について、収集運搬委託契約のみが必要な場合は1、処分委託契約のみが必要な場合は2、収集運搬と処分の委託契約が必要な場合は3、直接契約が不要な場合は4を選びなさい。

なお、 は、収集運搬を示す。



解答

A社		B社		C社	
----	--	----	--	----	--

 検定1級 建設系コース 問題

ウ. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」に関して不適切なものは次のうちどれか。

1. 特定建設資材に石膏ボードは含まれない。
2. 特定建設資材に粘土瓦は含まれない。
3. 請負金額が500万円以上の特定建設資材を用いた建築物のリフォーム工事は対象建設工事となる。
4. 床面積の合計が80㎡以上の特定建設資材を用いた建築物の解体工事は対象建設工事となる。

解答

 検定1級 事業系コース 問題

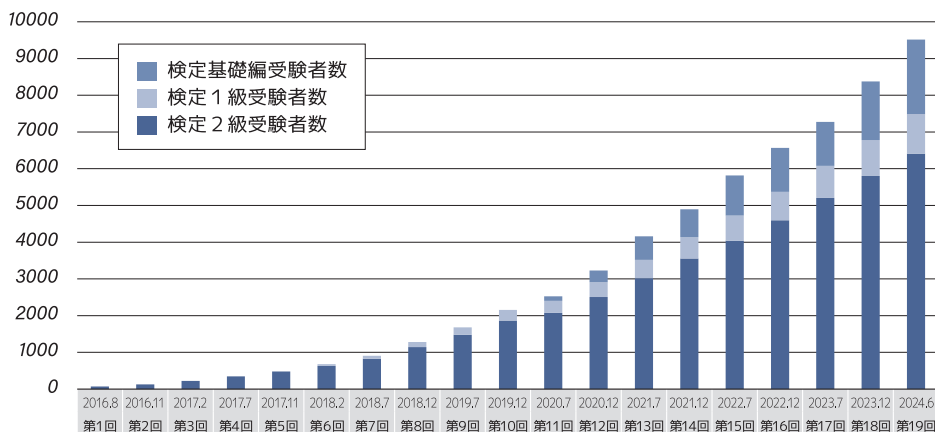
エ. 排出事業者が電子マニフェストを利用する場合に、排出事業者自らが行う必要がないものはどれか。

1. 処理業者の処理終了報告に虚偽の内容が含まれていたときの、措置内容等報告書の提出
2. 管理票交付等状況報告書の提出
3. 多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書の提出
4. 自ら排出した産業廃棄物の収集運搬を行なうときの、運搬する産業廃棄物の種類及び数量等を記載した書面の携帯

解答

開催実績

1回あたり **700名以上**、**約9000名**の方が受験



検定受験者数の累計

受験後のフォロー

本検定に合格していただくことは大事なゴールの1つですが、受験者の皆様には検定への学習を通じ、**産業廃棄物の実務を適正に行うための基礎知識を体系的に学んでいただきたく思います**。検定を受け終わった後も、まだ理解の浅い分野を確認し、必要な知識を確実に身につけることが必要です。

本検定の成績表には、**間違いやすい問題・分野に対応したアドバイス**が載っています。**公式テキストの該当ページも掲載**しているのので、どこを復習すれば良いのか、何を勉強すれば良いのかが一目でわかります！（検定2級・1級共通）

POINT 1

公式テキストの該当ページを掲載
 復習すべき場所が一目で分かる！

POINT 2

重要な問題と解説を掲載。
 必ず抑えておくべき内容を網羅！

分野1. 区分と定義	
項目	産廃と一廃の処理委託の違い
公式テキストの タイトル(節)/ページ	産廃の処理委託では、書面による処理委託契約の締結・ manifests の交付が義務ですが、一廃について、これらは義務ではありません。 P.41 - 42
項目	産業廃棄物はどれか
公式テキストの タイトル(節)/ページ	産廃と一廃の処理委託の違い P.37 - 38 ・ 廃木製パレットは、事業の種類に関係なく産廃です。 ・ 動植物性残さは、「食品製造業等の製造過程」で排出されたものが産廃のため、スーパーから排出されたものは一廃です。
分野2. 自治体・罰則	
項目	事前協議制度
公式テキストの タイトル(節)/ページ	都道府県等は、地域外からの産廃搬入について条例で事前協議等を定めている場合がある。自治体
項目	産廃物の地域外搬入に関する規制
公式テキストの タイトル(節)/ページ	

POINT 3

試験で最も正答率が低かった問題を掲載
 間違いやすい内容を確認できる！

※画像はイメージです

受験要項

会場型 検定 2級・1級 	試験日	2024年 12月 1日  検定2級 13:30 開始 検定1級 16:00 開始														
	申込期間	2024年8月1日(木)～2024年10月31日(木)														
	開催地	札幌／仙台／東京／名古屋／大阪／岡山／広島／福岡														
	受験料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>受験区分</th> <th>試験時間</th> <th>受験料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検定2級</td> <td>90分</td> <td>9,350円(税込)</td> </tr> <tr> <td>検定2級+検定1級 建設系コース</td> <td rowspan="2">90分+90分</td> <td rowspan="2">16,500円(税込)</td> </tr> <tr> <td>検定2級+検定1級 事業系コース</td> </tr> <tr> <td>検定1級 建設系コースのみ*</td> <td rowspan="2">90分</td> <td rowspan="2">9,350円(税込)</td> </tr> <tr> <td>検定1級 事業系コースのみ*</td> </tr> </tbody> </table> <p>※すでに検定2級に合格した方のみ検定1級のみ受験が可能です。 なお、検定1級 建設系コースと事業系コースを同時に受験することはできません。</p>	受験区分	試験時間	受験料	検定2級	90分	9,350円(税込)	検定2級+検定1級 建設系コース	90分+90分	16,500円(税込)	検定2級+検定1級 事業系コース	検定1級 建設系コースのみ*	90分	9,350円(税込)	検定1級 事業系コースのみ*
	受験区分	試験時間	受験料													
	検定2級	90分	9,350円(税込)													
	検定2級+検定1級 建設系コース	90分+90分	16,500円(税込)													
検定2級+検定1級 事業系コース																
検定1級 建設系コースのみ*	90分	9,350円(税込)														
検定1級 事業系コースのみ*																
合格基準等	得点率 70% 以上															
解答方式	マークシート(一部記述を含む)															
受験の流れ	 <p>※試験日1週間前の時点で受験票が届いていない場合、当機構までお問い合わせください。</p>															
オンライン 検定 基礎編 	形式	e-ラーニング + テスト														
	受験料	9,350円(税込)(ハンドブックを含む)														
	申込期間	2024年3月1日(金)～2025年1月30日(木)														
	受講期間	2024年4月1日(月)～2025年2月28日(金) ID発行から1か月以内														
	試験時間	学習講座3時間程度 + 受験時間30分程度														
	テキスト	産廃がわかるハンドブック														

※5名様以上での同時受験の場合、団体割引が適用可能です。詳細は当機構までお問い合わせください。

申込方法



検定・書籍類・各種セミナー・通信教育は、
 当機構webサイトの「お申し込みフォーム」より
 お申し込みいただけます。

<https://www.cersi.jp/contact/>

